



ロータリーは
分かちあいの心

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinain-rotary.com



名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30
 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号
 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054
 ■会長/大隅 紀郎 ■幹事/杉山 隆秀 ■会報委員長/西村 己恵子

第777回

2007年7月3日(火) 曇り 第1回

出席 会員 74 名 (出席率算入人数 64 名)
 出席 54 名 出席率 84.38%
 前々回補填率 98.51% (6月19日分)

7月の誕生日

2日 山本 誠一さん	4日 川辺 清次さん
5日 浜田 忠盛さん	7日 中西 芳子さん
10日 坂田 信子さん	18日 恒川 誠二さん
25日 柴田 照子さん	29日 太田 敦士さん

7月の誕生日(配偶者)

14日 真木 芳子さん

◆◆会長あいさつ◆◆ 会長 大隅 紀郎さん

本日から会長を承りました。幸先よく、フィーバーで、「777」というときに会長にさせていただきました、大変幸運なことだと思っております。

なにせ話の下手な人間でございますので、これから何を1年間やっていったらいいのかなど、悩んでいることもあります。ぜひ、皆さんにご協力いただきまして、何とか無事1年間、乗り切っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

今日はこの後に会長告示がありますので、この辺にしておきたいと思っております。1年間よろしくお願いいたします。



◆◆幹事報告◆◆ 幹事 杉山 隆秀さん

1. 残念なことです、会員の餘久保国光さんが一身上の都合により、6月30日をもって退会されました。今年度は会員74名での出発となります。皆さんに会員をご紹介いただき、増強に努めたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2. 会費を納められた方は、本日の出席袋に会員証が同封されています。同封されていない方は未納ですので、早く納金されることをお願いいたします。

◆◆ニコボックス◆◆

*大隅丸の出航をお祝います。ボン・ボヤージ!
 青木 光輝さん 入谷 直行さん 武藤 正行さん
 伊藤 圭一さん 鈴木 厚司さん 宮崎 良一さん
 小山 慎介さん 田中 省三さん 長尾 浅吉さん

白藤 憲雄さん	佐々木 眞さん	杉本 勇さん
久米 伸治さん	三浦 和人さん	三島多恵子さん
鈴木 清詞さん	鈴井 一博さん	猪村 美之さん
水谷 誠さん	堀田 光江さん	平野鶏奈子さん
菊岡深智子さん	本多 利郎さん	加藤 宜之さん
佐々木元彦さん	朝比美和子さん	恒川 誠二さん
生野 房江さん	大橋さなえさん	児島 徳和さん
黒田 康正さん	林 隆二さん	三浦 隆さん
真木 實さん	木村 猛さん	犬飼りさ枝さん
中西 芳子さん	森田敏二三さん	柴田 照子さん
川村 繁生さん	平沼 里子さん	江村 雅夫さん
山崎 淳さん	加藤 英敏さん	西村己恵子さん

*本日より1年間会長を務めさせていただきます。よろしくお祈いします。 大隅 紀郎さん

*本日より1年間副会長を務めさせていただきます。よろしく御協力お祈いします。

小野 雅之さん 坂田 信子さん

*本日より大隅丸について1年間幹事を務めさせていただきます。皆さんお助け下さい。 杉山 隆秀さん
 *大隅会長、この一年大隅丸として頑張ってください。又、良きお手本とさせていただきますので、宜しくお祈い申し上げます。 森 昭勝さん

*出席委員会一年間よろしくお願いいたします。合掌。

中村 勝さん

本日合計 93,000円 累計 93,000円

◆◆委員会報告◆◆

●ゴルフ部会 部会長 佐々木元彦さん

大隅会長より、第17代会長賞としてスワロフスキー・フラミンゴを寄贈していただきました。



第779回例会(7月24日)のご案内

クラブフォーラム
 インターアクト協議会報告 新世代委員会
 国際奉仕委員長会議 国際奉仕委員会

●出席委員会 前年度委員長 川村 繁生さん

■ホームクラブ 100%出席者表彰

〈通期〉 1回目 宮崎 良一さん

2回目 江村 雅夫さん

小野 雅之さん

7回目 長尾 浅吉さん (4年連続)

〈下期のみ〉

川辺 清次さん、三浦 和人さん、大隅 紀郎さん

山崎 淳さん



◆クラブフォーラム◆

●会長告示 会長 大隅 紀郎さん

今年度のR I会長はウィルフリッド J. ウィルキンソンさんという、カナダ出身の公認会計士さんです。ロータリー入会は1962年で、会長、地区ガバナー、国際協議会討論リーダー等、幾多の役職を歴任されています。

ウィルキンソン会長は「わかちあいの心」というテーマを出されていますが、国際協議会における会長あいさつでは「ロータリーも44年していると、ロータリアンであることが当たり前になってきている。時折、自分の歩みを振り返って、ロータリーを考え直して下さい」と言っていました。「ロータリーとは、世界最古の国際奉仕クラブであり、約120万人の会員が、世界中で、それぞれの地域社会を改善するために努力しているというものです。そして、日々、何万件もの有益で、創造的な、ありとあらゆるプロジェクトが実施されています。ロータリーの魔力とは、普通の人々でも素晴らしい仕事がやり遂げられるということです。見知らぬ人と心を開き、また、何千マイルも離れた地域に、自分の地元と変わらぬ愛を注ぐ人間になるということで、それがロータリーの『分かちあいの心』ということ」だそうです。また、ロータリアンとして行動する際、次の詩を胸に刻んで行動して欲しいと要請されました。

『この人生はたった一度限りの旅だと思ふから、私にできる良いこと、私が友にしてあげられる親切なら、どんなことでも、今させて下さい。再び引き返してこないなら、先延ばししたり、なおざりにしたくはないのです。』(ステファン・グレレ)

それから、奉仕については以下のように考え方を述べられました。

クラブ奉仕について。「クラブがなければロータリーは存在しません。クラブが開放的で親しみに溢れ、資格を有する人であればどんな人でも会員に迎え入れることができる環境作りに徹したい。」

職業奉仕について。「取引や、仕事上の決定を行う際に、ロータリーの倫理観に照らしてこれを行います。」

社会奉仕について。「社会奉仕がロータリーの心臓部。『ロータリーは良いことをしてくれる』と言ってもらえるよう、地域社会で存在感を高める努力を惜しみませ

ん」。

国際奉仕について。「それぞれの国において一人ひとりがロータリーの「目」の役割を果たしています。地元のニーズに対して、地元だけでは賄いきれないときは、世界中のロータリアンから援助を求めることができます」。

青少年活動について。「青少年プログラムを強化することによって、やがてボランティア志向の新世代がこの会場を埋め尽くしてくれるはず。これらの若い人々は、先に広がるロータリーの未来への架け橋です」。

会員増強について。「会員増強なくしてロータリーは生き残れません。ロータリーへの勧誘がたやすくはないことは承知していますし、断られることを当たり前として、再度誘う好機をうかがい、応じてくれそうな次の候補者へと焦点を移す時期を知ることも、また大切です」。

次に第2760地区ガバナーの江崎柳節さんをご紹介します。江崎柳節さんは、現在、小牧の医療法人柳雪会・江崎外科内科病院の名誉院長をされています。1982年に小牧RCに入会され、1998年幹事、2002年度会長、04-05年度地区クラブ奉仕委員長を経て、現在07-08年度地区ガバナーに就任されました。

江崎さんの、地区の運営方針は、「違いをもたらそう One Difference」ということですが、ロータリアンとしての自己の明確化について次のように説明されています。

「ロータリーは選ばれた優良な実業家と専門職業人が集い、奉仕の理想の会得を誓い合った人々のコンペの場です。ロータリーには素晴らしい仲間がいることが誇りであり、高い倫理と専門性が奉仕の質を比類のないものにしていくことがたまらない魅力です。ロータリーの奉仕の理念が今ひとつ分かりにくく、社会の認知度も意外にも高くないことは事実ですが、ロータリーでなければいけない、ロータリーの高邁な倫理性、高い専門性、職能性を基にした奉仕で他の奉仕活動団体との違いをもたらしたい」ということを目指しています。

そのための地区の方針として、「クラブ基盤の強化」「成果多い奉仕を」「奉仕の資源に関心を」「指導者の育成」「研修と教育の充実」を挙げています。

私はこれまで、ロータリーに対して色々と言ってきました。しかし、実際この立場に立ってみると、「ロータリーというのは本当に大変だな」とひしひしと感じます。この1年間、各重点目標、そしてその他の活動も一生懸命やっています。皆様のご協力も仰ぎながら、この名南RCが何をしていくべきかを考えていきたいと思っています。

これから1年間頑張ります。健康にも気をつけます。どうかよろしく願います。ありがとうございました。

●7月度理事会●

報告者 鈴木 清詞さん

2007.7.3 17:00～

名古屋マリオットアソシアホテル 17F「バイン」

出席：大隅、小野、坂田、森、杉山、小山、宮崎、久米、鈴木(清)、

田中(省)、太田、三島、佐々木(眞)、伊藤(博)

一、2007-2008年度予算案の件 <会計 久米 伸治さん>

クラブ活動費については、ローターアクトを85万に増額する。

それ以外は例年通り人員減により収入が3234万より3150万となる。

その他は別紙。

一、職場例会の件 <幹事 杉山 隆秀さん>

10/16(火)古川電工三重工場見学

一、その他

①新世代委員会事業計画について <幹事 杉山 隆秀さん>

8月10日「中央有鄰学院の子供達とのふれあい」を開催する。

会員木下さん、白藤さんの船に1時間程乗船。その後マリナーにて

パーベキュー。

但し、保険に加入の事。開催前に事故のなき様確認書を取り交わす。

→内容は会長に一任。